

テーマ：信仰ゆえに迫害を受け、虐げられる時にどんな神様を覚えて祈るのか

※使徒 16:25

「真夜中ごろ、パウロとシラスが神に祈りつつ賛美の歌を歌っていると、ほかの囚人たちも聞き入っていた。」

○虐げられし者の祈り：神様の三つの姿

1. 神様が_____であることを覚えること(1-5)

※箴言 20:22

「悪に報いてやろう」と言ってはならない。主を待ち望め。主があなたを救われる。」

※詩篇 32:5

「私は、自分の罪を、あなたに知らせ、私の咎を隠しませんでした。私は申しました。「私のそむきの罪を主に告白しよう。」すると、あなたは私の罪のとがめを赦されました。」

●三つの言葉：

a) 心

※1 サムエル 16:7

「しかし主はサムエルに仰せられた。「彼の容貌や、背の高さを見てはならない。わたしは彼を退けている。人が見るようには見ないからだ。人はうわべを見るが、主は心を見る。」」

b) 夜

c) 試された

※詩篇 12:6

「主のみことばは混じりけのないことば。土の炉で七回もためされて、純化された銀。」

※詩篇 26:2(cf. 詩篇 139:23)

「主よ。私を調べ、私を試みてください。私の思いと私の心をためしてください。」

(※1 ヨハネ 1:9)

「もし、私たちが自分の罪を言い表すなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、すべての悪から私たちをきよめてくださいます。」

2. 神様が_____であることを覚えること(6-12)

※イザヤ 6:10

「この民の心を肥え鈍らせ、その耳を遠くし、その目を堅く閉ざせ。自分の目で見ず、自分の耳で聞かず、自分の心で悟らず、立ち返っていやされることのないように。」」

3. 神様が_____であることを覚えること(13-15)

(※申命記 32:35)

「復讐と報いとは、わたしのもの、それは、彼らの足がよろめくときのため。…」

※ダニエル 12:2

「地のちりの中に眠っている者のうち、多くの者が目をさます。ある者は永遠のいのちに、ある者はそしりと永遠の忌みに。」

※1 ヨハネ 3:2

「愛する者たち。私たちは、今すでに神の子どもです。後の状態はまだ明らかにされていません。しかし、キリストが現れたなら、私たちはキリストに似た者となることがわかっています。なぜならそのとき、私たちはキリストのありのままの姿を見るからです。」

○まとめ

『私の神よ。この世のあらゆる知恵や理屈に対して私の傍にいてください。どうかあなたの御心が為されますように。私はこの混乱から抜け出して、平穏な日々を送ることをむしろ望んでいます。しかし主よ。あなたの御心が為されますように。それは正しく、また永遠のもので。どうか、私を支えてください。あなたは永遠に真実の神です。他の誰に私は信頼しましょう。傍にいてください神よ。あなたの愛するひとり子、私を守り、盾としていてくださるイエスキリストの名において、そうです、聖霊の力と権力を通して、あなたこそ私の力強いやぐらであられる方です。アーメン。』

(マルティン・ルター)